
株式会社メガチップス

2021年3月期 決算説明

<https://www.megachips.co.jp/>

目 次

- 1. 2021年3月期 業績報告 3
- 2. 2022年3月期 業績予想 10
- 3. 2022年3月期・中期 経営方針 12

2021年3月期 業績報告

2021年3月期 連結業績(P/L)サマリー

主にゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が堅調に推移し、売上高・各利益は前年度を上回り黒字。2019年3月より構造改革に着手し、事業構造の見直し、業務の効率化、財務体質の改善等の成果も着実に表れ増益に貢献。また、連結子会社であったSiTime Corporation株式の一部売却、および同社の新株発行増資に伴う26,387百万円の関係会社株式売却益により、親会社株主に帰属する当期純利益を大きく押し上げた。

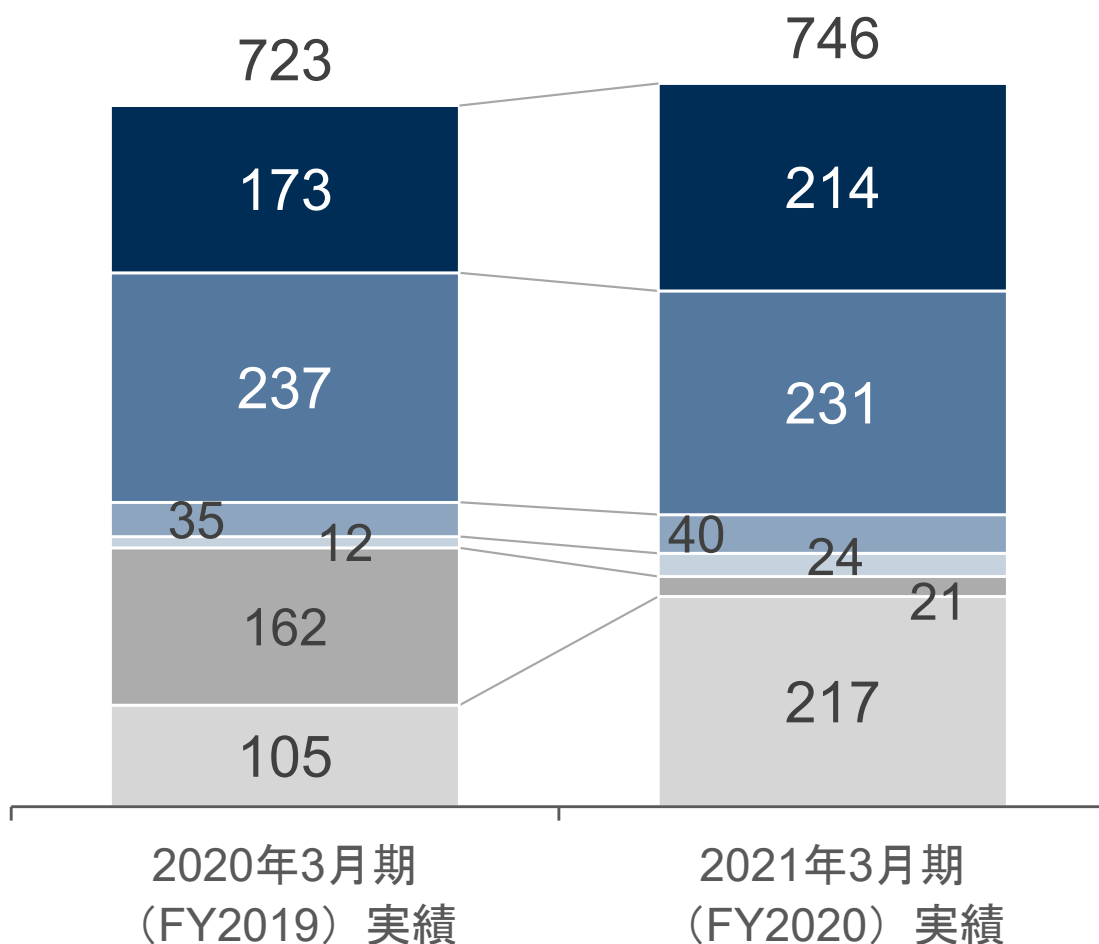
(単位:百万円)		2021/3期 (FY2020) 通期実績	2021/3期 (FY2020) 通期予想	対予想	2020/3期 (FY2019) 通期実績	対前年 同期比
連結	売上高	83,814	82,000	+ 2.2%	65,764	+ 27.4%
	のれん等償却前 営業利益	5,608	5,300	+ 5.8%	3,449	+ 62.6%
	のれん等償却	583	600	—	2,477	—
	のれん等償却後 営業利益	5,025	4,700	+ 6.9%	972	+ 416.7%
	経常利益	3,912	3,200	+ 22.3%	639	+ 512.3%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	20,920	20,000	+ 4.6%	-1,792	—
	1株利益(円)	961.28	918.99	+ 4.6%	- 82.35	—

※2020年3月期 期末為替レート:米ドル 108.83円

※2021年3月期 期末為替レート:米ドル 110.71円

2021年3月期 財政状態(資産)

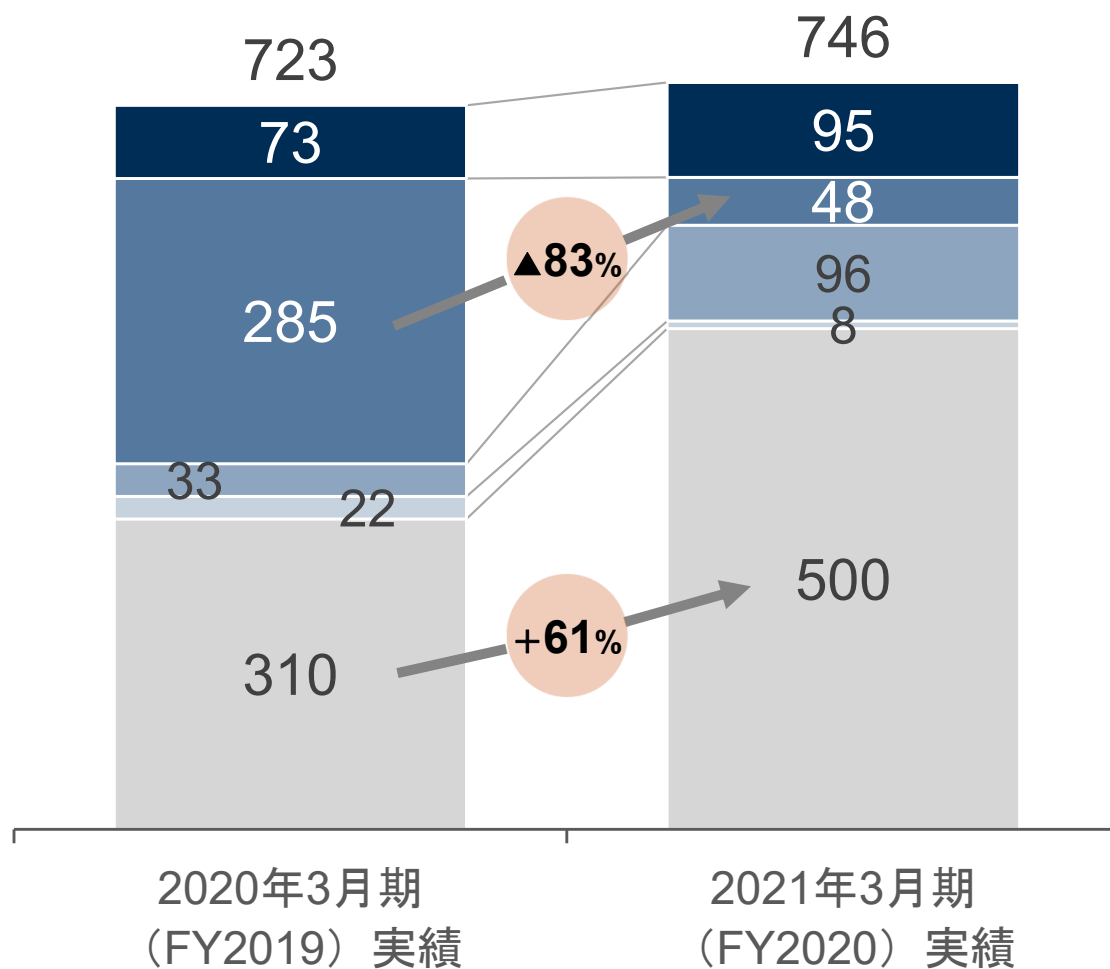
(単位:億円)



	増減 (FY19→FY20)	増減率 (増減÷FY19)
現金及び預金	41.5	+24%
受取手形及び売掛金	▲6.0	▲3%
たな卸資産	4.6	+13%
その他の流動資産	12.2	+105%
無形、有形固定資産	▲141.7	▲87%
投資その他の資産	112.2	+107%

2021年3月期 財政状態(負債・純資産)

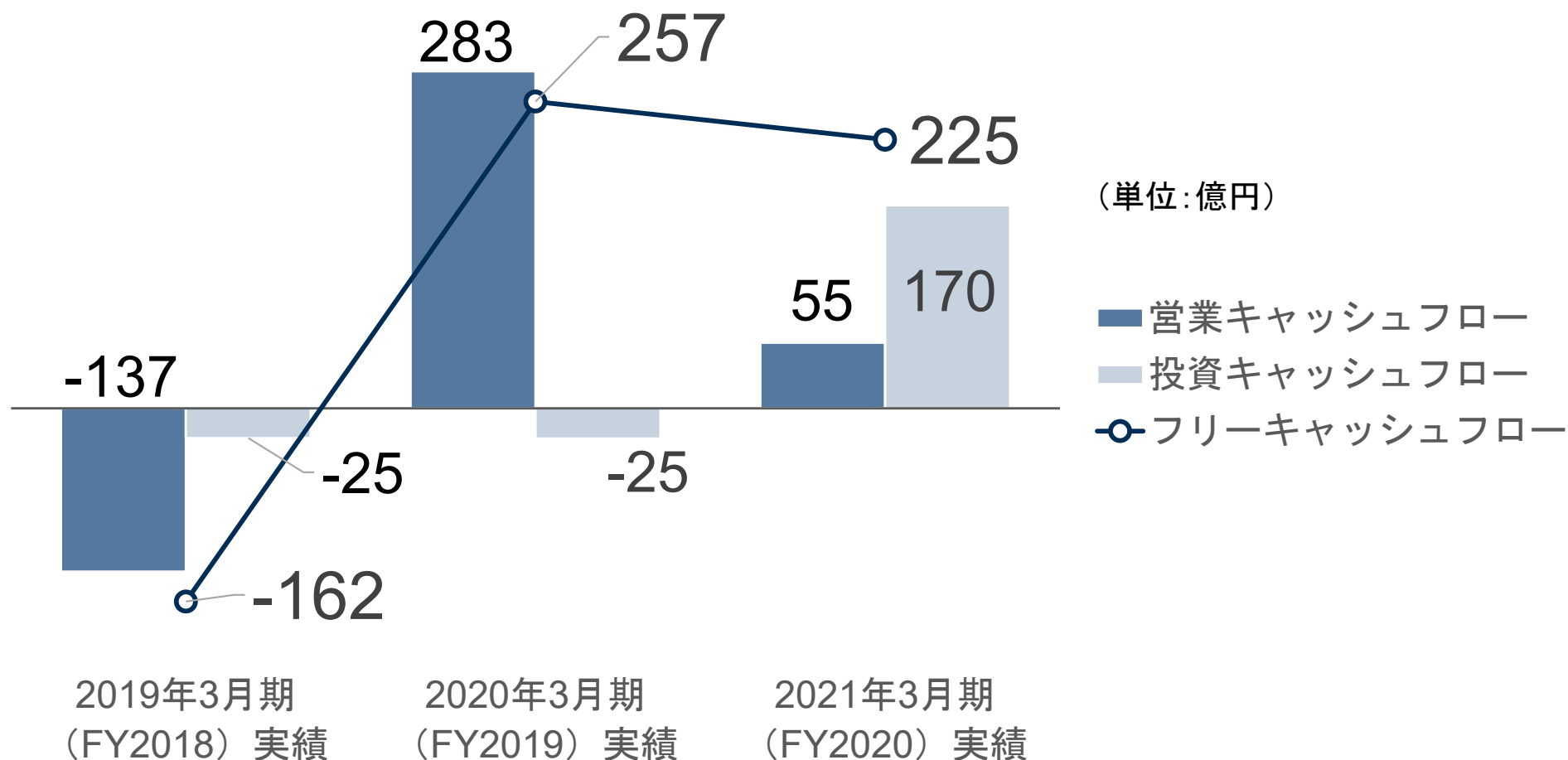
(単位:億円)



	増減 (FY19→FY20)	増減率 (増減÷FY19)
支払手形及び買掛金	21.7	+30%
有利子負債	▲237.0	▲83%
その他流動負債	62.9	+193%
その他固定負債	▲14.9	▲66%
純資産	190.1	+61%

2021年3月期 キャッシュフロー

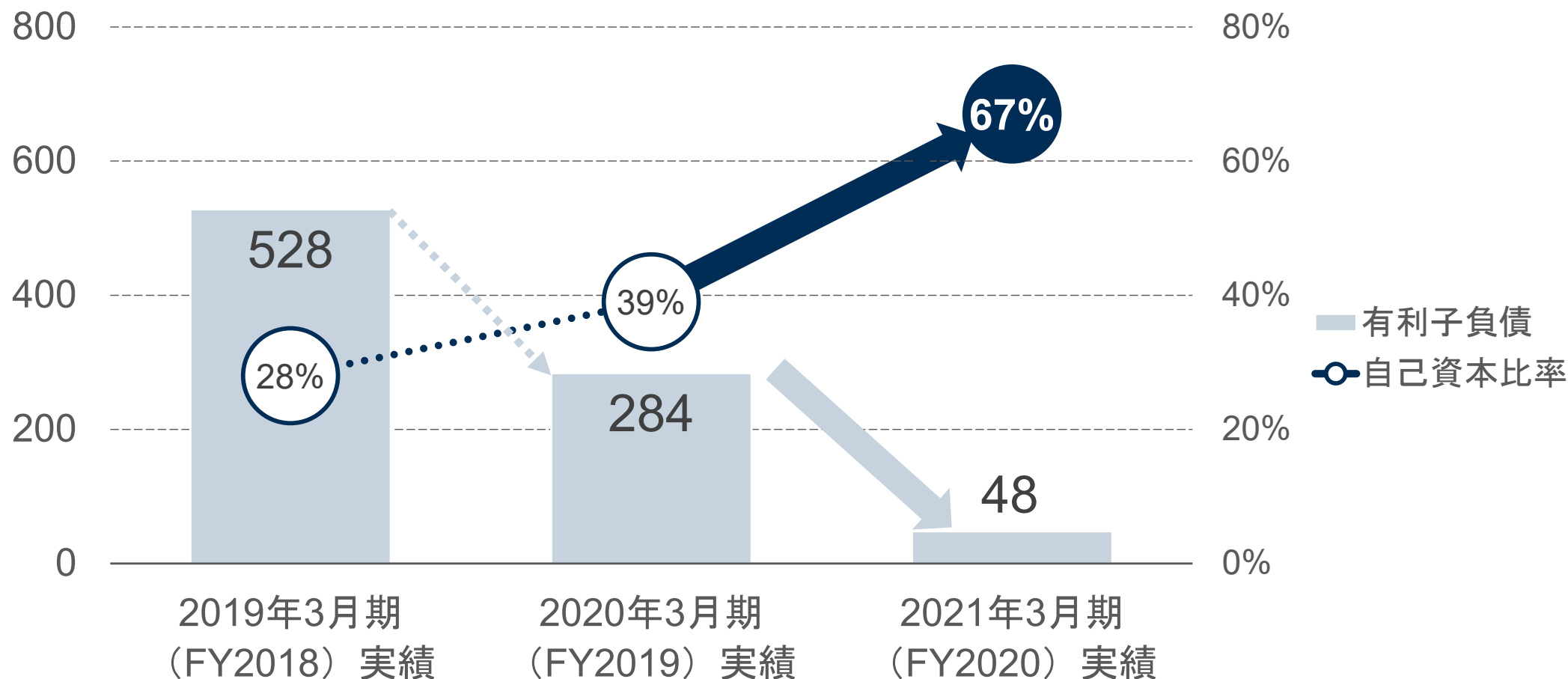
営業キャッシュフローおよび関係会社株式の売却利益により、投資キャッシュフロー資金を獲得しております。



2021年3月期 有利子負債及び自己資本比率

財務体質の強化、自己資本比率の向上に取り組んでおります。

(単位:億円)



利益還元

持続的な利益還元と会社の成長をともに実現することに向け、当社の基本方針に基づき今後の会社の経営状況を勘案した上で積極的な利益還元に努めております。

【剰余金の配当】

・当社配当方針に沿って、2021年3月期は80円(含創立30周年記念配当45円)といたします。

	当期実施額 2021年3月期	前期実施額 2020年3月期
普通配当(円/1株)	35円	17円
記念配当(円/1株)	45円	-
1株当たり配当金(円/1株)	80円	17円

【自己株式取得】

・当社方針に基づき、今後の経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の実施を可能とするため、自己株式の取得を行います。

取得する株式の総数 1,600千株(上限)
発行済株式数(自己株式を除く)に対する割合は7.4%

株式の取得価額の総額 50億円(上限)

2022年3月期 業績予想

2022年3月期 業績予想

中長期の成長分野への投資および安定した利益の確保を目指します。

(単位:百万円)		2022/3期 (FY2021) 通期予想	2021/3期 (FY2020) 通期実績
連結	売上高	65,500	83,814
	営業利益	4,300	5,025
	経常利益	3,700	3,912
	親会社株主に帰属する当期純利益	2,400	20,920
	1株利益(円)	110.28	961.28

※2021年3月期 第2四半期よりSiTimeはメガチップスの連結子会社から持分法関連会社に異動しています

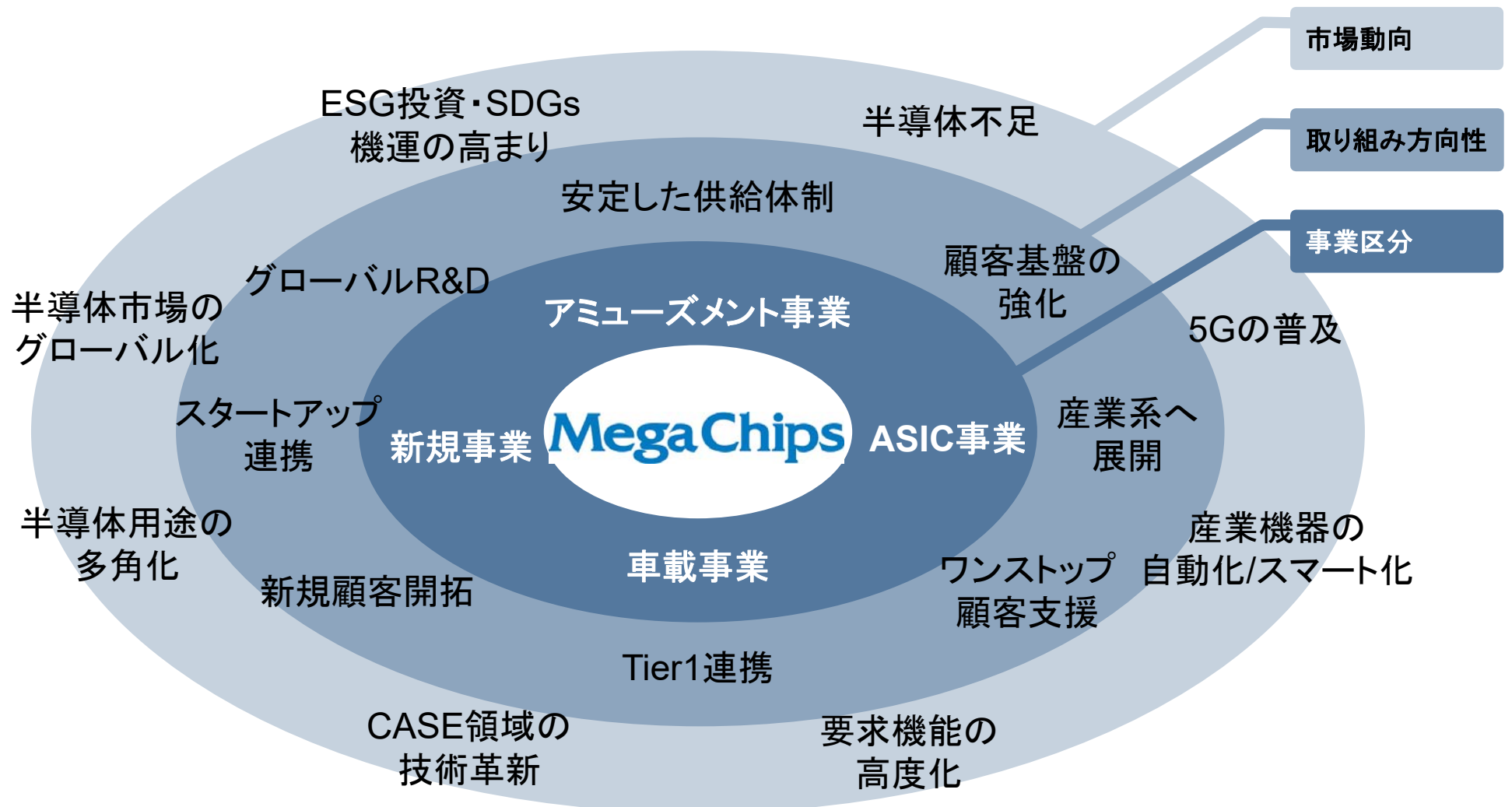
※2021年3月期 期末為替レート:米ドル 110.71円

※2022年3月期 前提為替レート:米ドル 105円

2022年3月期・中期 経営方針

メガチップスを取り巻く事業環境

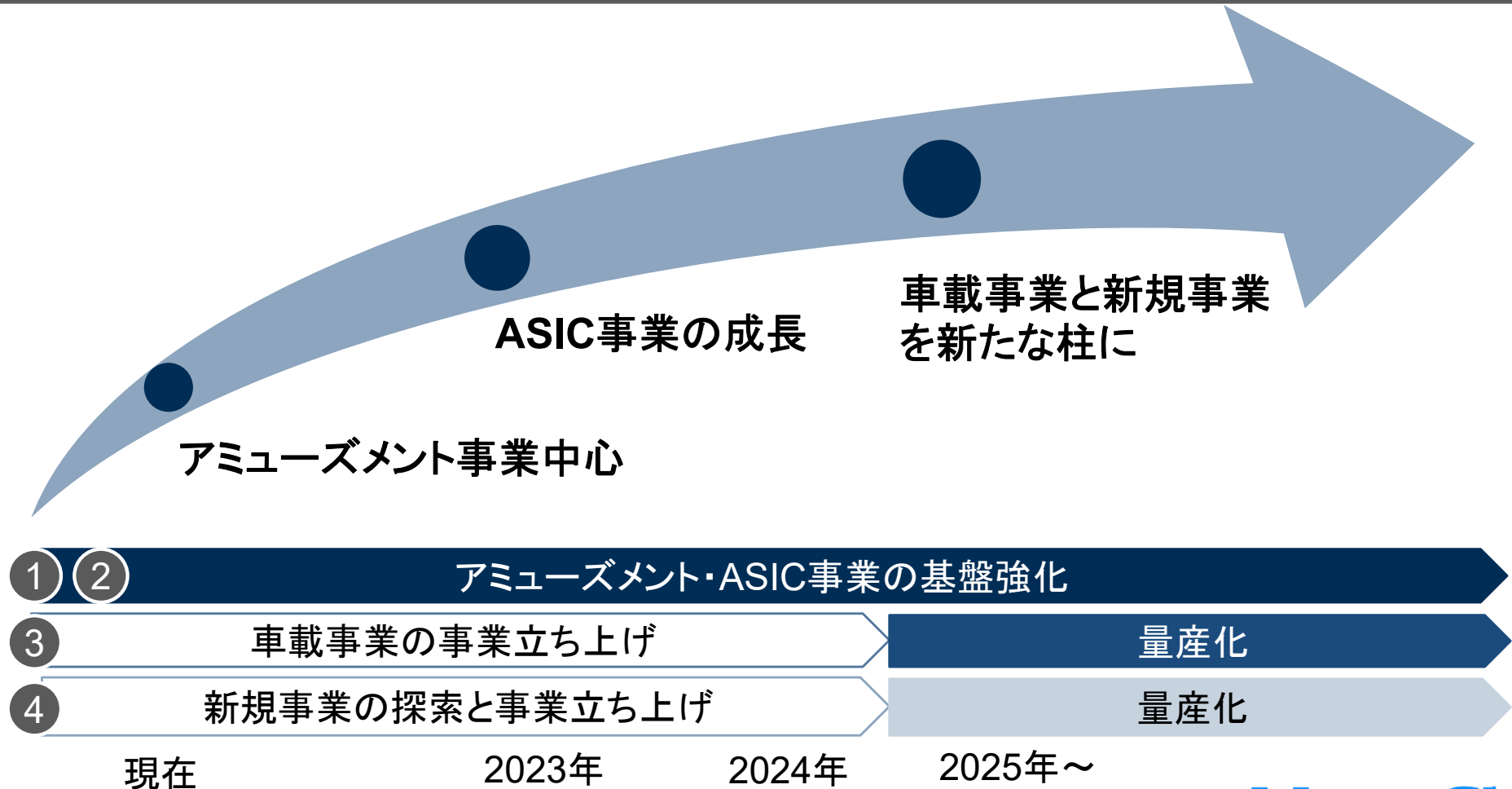
アミューズメント・ASIC・車載・新規事業を4本柱とし、ダイナミックな市場動向を捉えた事業拡大を目指します。



中期計画 事業の4本柱

アミューズメント事業とASIC事業で全社を支え、2025年から車載事業と新規事業を含めた事業の4本柱が全社の増収増益に貢献します。

2025年に向けた中期計画



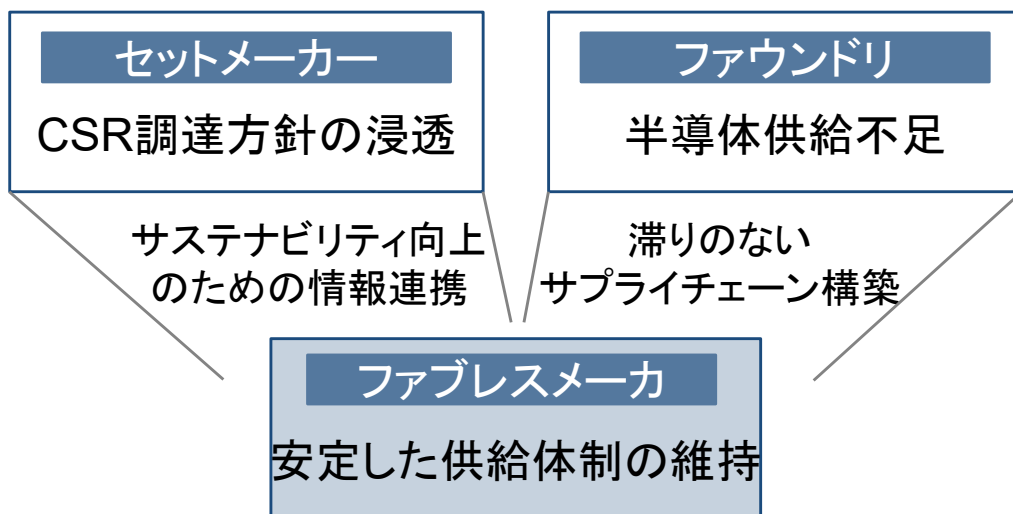
1) 事業別中期計画(アミューズメント事業)

顧客密着型の提案活動を継続的に強化し、主要顧客・関連サプライヤーと良好かつ緊密な取引関係を維持することで、事業基盤の盤石化に注力します。

事業環境

変化の大きい
半導体×アミューズメント業界

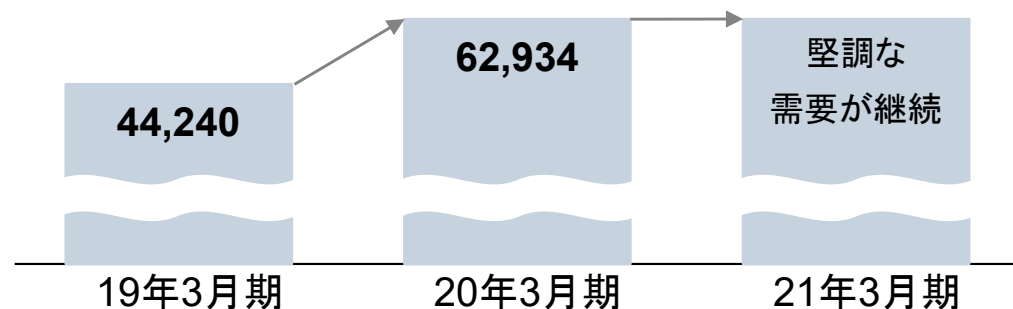
業界を支えるサプライヤーの役割が重要に



2025年に向けた中期計画

- 主力事業として引き続き事業基盤を盤石化
 - 顧客・関連サプライヤーとの良好かつ緊密な取引関係を維持
- 新規案件の獲得

主要顧客向け販売金額(連結・百万円)



2) 事業別中期計画(ASIC事業)

ワンストップの顧客支援を強みに、産業系分野を中心とした事業展開を目指します。

事業環境

- 各社、高度な人材の育成に注力
- 設計から品質検査など一貫したサポートが重要

ASICの採用が期待される産業系分野

産業機器

FA・建機・農機などの
自動化/スマート化

自動車

CASEの進展

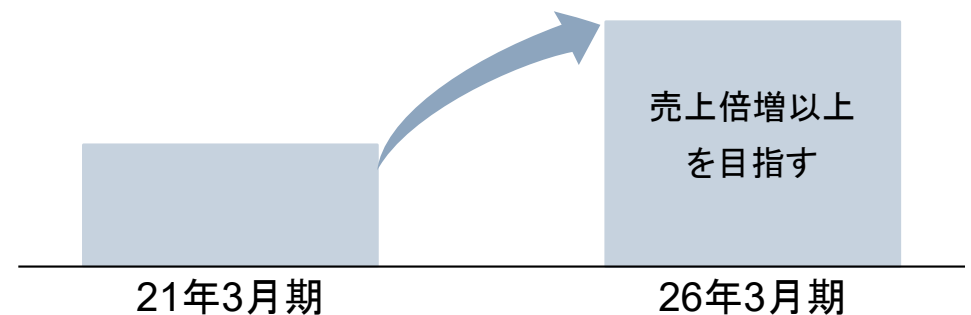
通信

5Gの普及

2025年に向けた中期計画

- コンシューマやOA機器中心⇒産業系へ展開
- ワンストップで顧客サポート
- 高速通信アナログ回路技術、情報セキュリティ、暗号化技術、画像処理技術を競争力に

売上高成長率



3) 事業別中期計画(車載事業)

車載向け半導体市場の拡大を捉え、2025年の量産化を目指します。

事業環境

- CASEを追い風に急成長
- OEM・Tier1の変化と参入機会
- 様々な機能のアナログ及びデジタルLSIへの要求が伸展

2025年に向けた中期計画

- 高速有線通信に焦点を当て車載分野に参入
 - 2025年からの事業の本格化を計画
- LAN用LSI、高速通信アナログ回路技術がコア
- 国内Tier1と協業し、車載LSIを開発中

CASE領域の技術革新

需要増の例

C	通信量の増加	高速ネットワーク
A	自動化技術の進展	AI・センシング
S	認証・モニタリング需要の拡大	セキュリティ
E	車内電力使用量の増加	パワー制御

成長の方向性

24年頃までが
事業立上期間

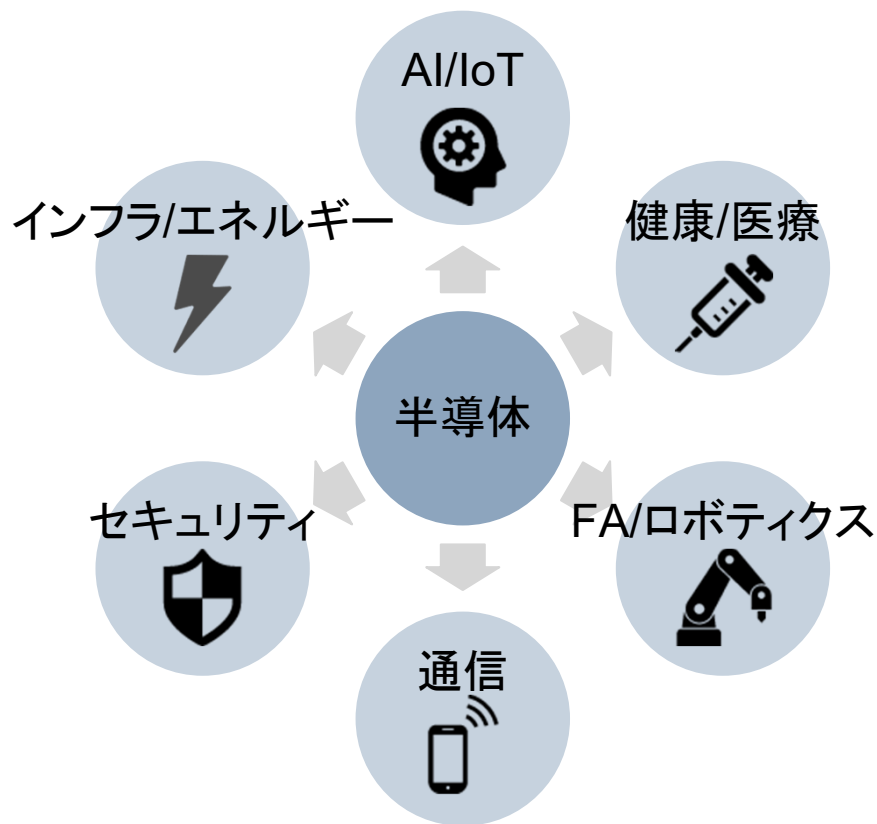
25年から
事業本格化

4) 事業別中期計画(新規事業)

米国を中心にスタートアップとの戦略的提携や投資を行い、新規事業の探索を行います。

事業環境

- 半導体用途が多角化、分野拡大の機会

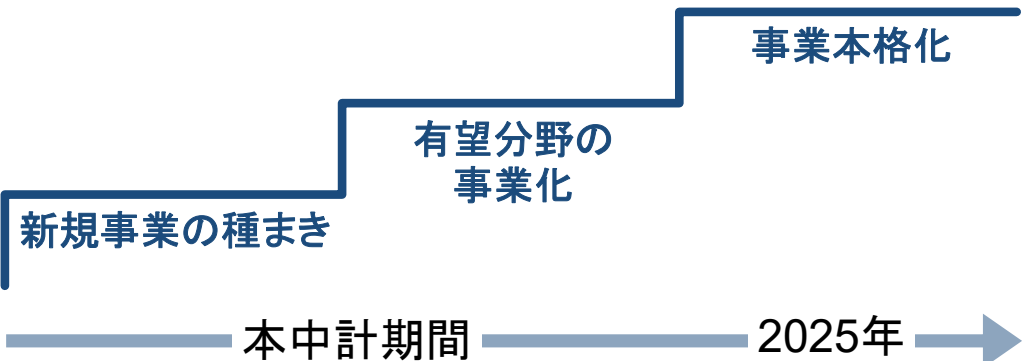


2025年に向けた中期計画

- 米国拠点を強化し、新規事業の芽を探索
 - グローバルなマーケティングや製品企画、最先端のR&Dを行う拠点
 - CVCを設立し、スタートアップとの連携を強化

有望な新規事業を短期間で立ち上げ

成長の方向性



IRポリシー

≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組めます。

≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられられる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられられる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。

また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

IRポリシー

≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス
財務部

ir-team@megachips.co.jp

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル

TEL: 06 - 6399 - 2884(代) FAX: 06 - 6399 - 2886